

(説明資料)

平成 28 年 1 月 7 日

NHK  
(株) NHKアイテック

NHKアイテック社員による  
不正行為に関する調査の進捗状況について

(株) NHKアイテックとNHKによる調査でこれまでに判明したのは以下の通りです。

(概要 1) 1 2 月 1 7 日既公表分関連

調査対象者

- ① 社員 A (40 代) 本社所属                      ② 社員 B (40 代) 千葉事業所所属

社員 B は、テレビの地上デジタル化に伴う難視対策（新たな難視対策）のうち、総務省の補助金を原資とする個別訪問業務で、個別訪問の対応結果を記す「個別訪問対応・ポスティング 対応票」について、平成 26 年 12 月から平成 27 年 4 月までの間、3 回にわたって 873 枚を偽造し、総務省から難視対策を受託したデジタル放送推進協会（D p a）のテレビ受信者支援センター（デジサポ）に請求した。これらの請求によって、NHKアイテックは、委託費約 4,800 万円を得て、このうち社員 A および B は、平成 27 年 2 月、実体のない会社ケイネットに架空発注する方法で、約 430 万円を不正に受領した疑いがあることが、関係書類の確認や本人への聞き取り調査によってわかりました。

(概要 2) 新たに判明したもの

調査対象者

- ② 社員 C (副部長・50 代) 九州支社所属

社員 C は、平成 26 年 3 月から平成 27 年 11 月までの間、Z 社に対する架空発注などの方法で、会社の金 1 千数百万円を不正に支出し、他方、Z 社から少なくとも平成 24 年 11 月から平成 27 年 12 月までの間、十数回にわたって、約 500 万円を不正に受領した疑いがあることが、関係書類の確認や本人への聞き取り調査によってわかりました。

以上